

---

**KDDI ホスティングサービス**

**G120・G200**

**MSSQL2000 ⇒ MSSQL2008 移行ガイド**

---

【1】コントロールパネルにログインします。

## ログイン

ユーザー名	
パスワード	

ログイン  
パスワードを忘れた場合

【2】「追加サービス」の枠内に表示されている[データベース]をクリックします。

ホーム | ユーザー | ウェブサイト | メール | 追加サービス | アカウント | よくあるご質問 ログアウト

最新ID: 2.21.20.01  
2016/03/01

### ホーム

**サービス情報**

	契約	Hosting (ID:256484)
Diskpace [Qmail]	<div style="width: 100%; height: 10px; background: linear-gradient(to right, #ccc, #ccc);"></div>	9 MB / 80 GB を使用
Diskpace [WEB]	<div style="width: 100%; height: 10px; background: linear-gradient(to right, #ccc, #ccc);"></div>	163.5 MB / 10 GB を使用
WEB Hosting	<div style="width: 100%; height: 10px; background: linear-gradient(to right, #ccc, #ccc);"></div>	1 unit のうち 1 unit を使用

[リリース使用量](#)

**アカウント**

アカウントとアカウント管理者を管理します。

[管理](#) [ホスティング契約](#)

[もっと見る](#)

**メール**

このセクションではメールに関する全般的な設定を行います。

[新しいメールボックスを追加](#) [メールボックス](#)

[もっと見る](#)

**ユーザー**

このセクションでは、サービスユーザーの管理機能を提供します。サービスユーザーの契約サービスへのアクセス管理と表示ができます。

[ユーザー](#) [ユーザーを作成](#)

[もっと見る](#)

**ウェブサイト**

このセクションではウェブサイトの設定/管理を行うことができます。

[ウェブサイト管理](#) [ファイルマネージャ](#)

[新しいウェブサイトを追加](#)

[もっと見る](#)

**ドメイン名**

このセクションは、ドメイン名の全般的な管理機能を提供します。ドメイン名及びサブドメイン名の一覧表示と管理、DNSホスティングタイプの変更、DNSレコードの管理ができます。ここにはアカウント情報に伴うドメイン名管理者リストも含まれます。

[ドメイン管理](#)

**追加サービス**

ここで、現在の契約用の特別な機能を管理できます。

データベース [AWSStateウェブ統計](#)

[バックアップ](#)

[もっと見る](#)

## ～データベースのバージョンを確認します～

【確認手順1】データベースの一覧からバックアップを行うデータベース名をクリックします。

※タイプ列が「MS SQL」であるデータベースのバージョンを全て確認してください。

ID	データベース名	タイプ	ステータス
	db: test	MS SQL	準備完了
	db: wr	MySQL	準備完了
	db: mt	MySQL	準備完了

【確認手順2】「全般」タブで[データベースの管理] 横に表示されているリンクをクリックします。

項目	値
データベースの管理	<a href="https://cp.kddhs.jp/">https://cp.kddhs.jp/</a>
ID	
データベース名	db: test
データベースタイプ	MS SQL
データ容量	640 KB (6%)
データ容量の上限	10 MB
トランザクションログ容量	1 MB (50%)
トランザクションログ上限	2 MB
ステータス	準備完了
データベースサーバー名	websql01.kddhs.jp
ホストのポート	1433

【確認手順3】表示されるデータベースの管理ツール(MyLittleAdmin)で確認します。

myLittleAdmin (for SQL Server and MSDE) v.2.7 WebHosting Edition r.124

myLittleAdmin \ WEBSQL01

サーバー WEBSQL01

サーバー名 : WEBSQL01

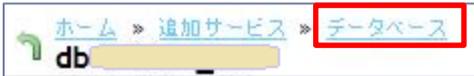
サーバーバージョン : Microsoft SQL Server 2000 - 8.00.2066 (Intel X86)  
May 11 2012 18:41:14  
Copyright (C) 1987-2003 Microsoft Corporation  
Standard Edition, Microsoft Windows NT 5.2 (Build 3790: Service Pack 2)

言語 : us\_en

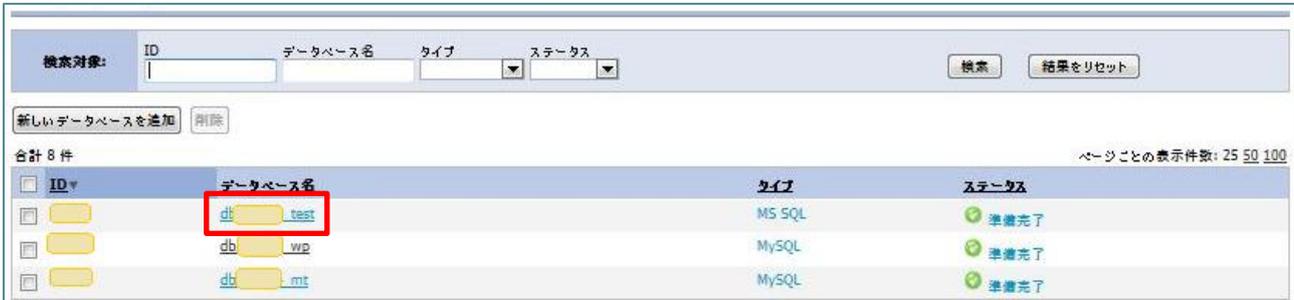
「Microsoft SQL Server 2000」の場合⇒次の手順へ進んでください。  
「Microsoft SQL Server 2008 R2」の場合⇒作業は必要ありません。

## ～データベースをバックアップします～

【バックアップ手順1】画面上部にある”データベース”をクリックしてデータベース一覧に戻ります。



【バックアップ手順2】データベースの一覧からバックアップを行うデータベース名をクリックします。



【バックアップ手順3】「全般」タブで[データベース名]を控えておきます。



【バックアップ手順4】「ユーザー」タブに移り、[ユーザー名]をクリックします。



【バックアップ手順5】ユーザー名を控えておきます。

ホーム > 追加サービス > データベース > u\_sampleuser

ID: 2.11.35.07 リフレッシュ

情報 このユーザは、データベース db256484\_test0428 の既定管理ユーザーです。

データベースのユーザ情報

ID: [redacted]  
 データベースユーザ名: u\_sampleuser  
 パスワード: \*\*\*\*\*  
 認証の種類: SQLサーバー認証  
 ステータス: 準備完了

編集

※パスワードを忘れた場合は[編集]ボタンをクリックし、パスワードの変更後に[送信]をクリックで変更可能です。

※パスワードは控えておいてください。

ホーム > 追加サービス > データベース > u\_sampleuser

ID: 2.11.35.08 リフレッシュ

データベースのユーザ情報

ID: [redacted]  
 データベースユーザ名: u\_sampleuser  
 パスワード: [redacted]  
 パスワードの確認: [redacted]  
(パスワードについては自動生成機能による登録を推奨しております。任意パスワード登録の際は、「4種類以上」の文字を組み合わせた「8文字以上」である必要があります。(アルファベット大文字、アルファベット小文字、数字、特殊文字が利用可能) また、アカウント部分、ドメイン部分と重複する文字列の利用はお控えください。)  
 新しいパスワードを生成  
 認証の種類: SQLサーバー認証

送信 キャンセル

【バックアップ手順6】ユーザーを削除します。左端にチェックを入れて[削除]ボタンをクリックします。

ホーム > 追加サービス > データベース

db

ID: 2.11.35.05 リフレッシュ

全般 ユーザ 許可するウェブサイト

データベースユーザーを追加できます。

検索対象: ID ユーザ名 認証の種類 ステータス  
 すべて [dropdown] [dropdown] 検索 結果をリセット

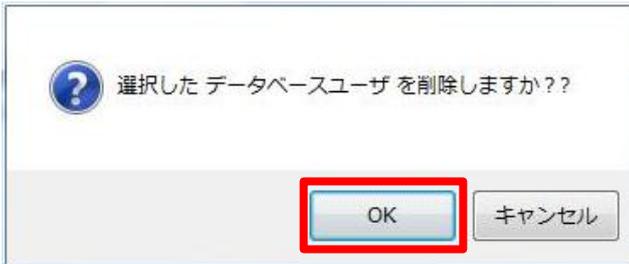
新しいユーザーを追加 削除

合計 1件 ページごとの表示件数: 25 50 100

ID	ユーザ名	認証の種類	ステータス
<input checked="" type="checkbox"/>	u_sampleuser	SQLサーバー認証	準備完了

合計 1件 ページごとの表示件数: 25 50 100

【バックアップ手順7】確認画面が表示されますので[OK]ボタンをクリックします。



【バックアップ手順8】画面右側の[リフレッシュ]をクリックすると、ユーザーが削除されたことが確認できます。



【バックアップ手順9】続けて再度同じユーザー名でユーザーを作成します。[新しいユーザーを追加]ボタンをクリックします。



【バックアップ手順10】【バックアップ手順5】で控えたユーザー名とパスワードを入力して[送信]ボタンをクリックします。

ホーム > 追加サービス > データベース > [db]

新しいユーザを追加

データベースのユーザ情報

データベースユーザー名: sampleuser  
データベースユーザー名は128文字以下でなければなりません。最初の8文字はユニークで120文字まで入力可能です。

パスワード: [masked]  
パスワードの確認: [masked]  
(パスワードについては自動生成機能による登録を推奨しております。任意パスワード登録の際は、「4種類以上」の文字を組み合わせた「8文字以上」である必要があります。(アルファベット大文字、アルファベット小文字、数字、特殊文字が利用可能) また、アカウント部分、ドメイン部分と重複する文字列の利用はお控えください。)

新しいパスワードを生成

認証の種類: SQLサーバー認証

送信 キャンセル

【バックアップ手順11】ユーザー名をクリックします。

ホーム > 追加サービス > データベース > db

全般 ユーザ 許可するウェブサイト

データベースユーザーを追加できます。

検索対象: ID ユーザー名 認証の種類 ステータス  
すべて

検索 結果をリセット

新しいユーザーを追加 削除

合計 1件 ページごとの表示件数: 25 50 100

ID	ユーザー名	認証の種類	ステータス
[masked]	sampleuser	SQLサーバー認証	作成中

合計 1件 ページごとの表示件数: 25 50 100

【バックアップ手順12】[デフォルト設定]ボタンをクリックします。

ホーム > 追加サービス > データベース > [db]\_sampleuser

データベースのユーザ情報

ID: [masked]  
データベースユーザー名: u\_[masked]\_sampleuser  
パスワード: [masked]  
認証の種類: SQLサーバー認証  
ステータス: 準備完了

デフォルト設定 編集

【バックアップ手順13】作成したユーザーが既定管理ユーザーとして設定されます。

The screenshot shows a user management window for 'u\_sampleuser'. At the top right, there is a refresh button and the text 'ID: 2.11.35.07 リフレッシュ'. A green message box states: '情報 このユーザーは、データベース dt\_... の既定管理ユーザーです。' Below this, a section titled 'データベースのユーザー情報' contains the following details:

ID	u_sampleuser
データベースユーザー名	u_sampleuser
パスワード	*****
認証の種類	SQLサーバー認証
ステータス	準備完了

A '編集' (Edit) button is located at the bottom left of the window.

【バックアップ手順14】下記の URL にアクセスし、各項目に入力して[connect]ボタンをクリックします。

<http://mla.win-sv.com/backup/>

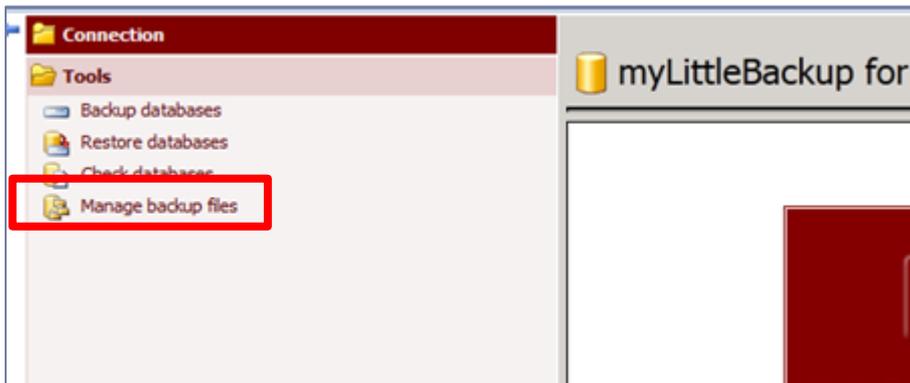
- Server name: SQL 2000
- Database: に【バックアップ手順3】で控えたデータベース名
- Login: 【バックアップ手順5】で控えたユーザー名
- Password: 【バックアップ手順5】で控えたユーザー名のパスワード

The screenshot shows the 'myLittleBackup for SQL Server version 1.7' application window. The 'Server' section contains the following fields:

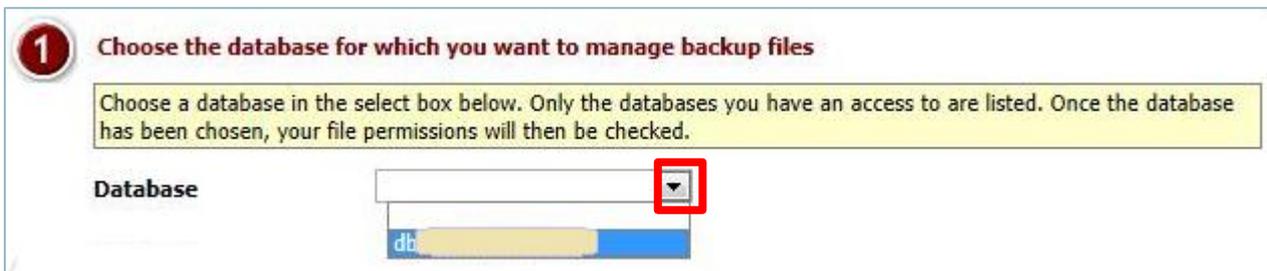
- Server name: SQL 2000 (dropdown menu)
- Database: (empty text box)
- Authentication: SQL Server Authentication (dropdown menu)
- Login: (empty text box)
- Password: (empty text box)

At the bottom, there is a 'Connect' button and an 'Options >>' button. Red boxes highlight the 'Server name', 'Database', 'Login', 'Password', and 'Connect' fields.

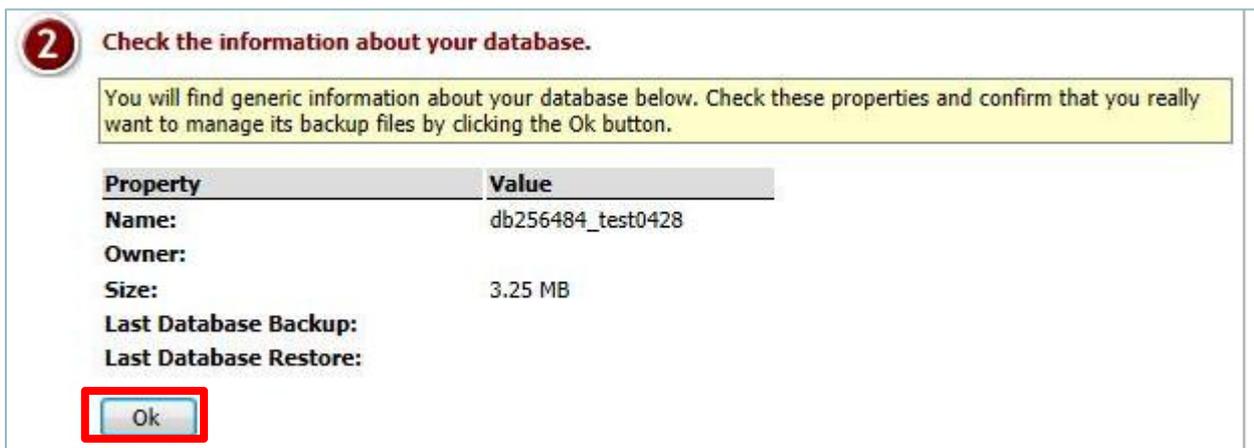
【バックアップ手順15】バックアップするデータベースの確認作業を行います。画面左上の[Manage Backup Files]をクリックします。



【バックアップ手順16】 **Choose the database for which you want to manage backup files** にあるプルダウンメニューをクリックし、対象のデータベースをクリックします。



【バックアップ手順17】 **Check the information about your database.** で[OK]ボタンをクリックします。



【バックアップ手順18】 **Choose the folder you want to manage.** の **Backup Folder** を選択して[OK]ボタンをクリックします。

**3 Choose the folder you want to manage.**

You must choose the folder you want to manage: the Restore folder which contains all the files you uploaded or the Backup folder which contains all the backup files you made with myLittleBackup.

Restore Folder (contains the backup files you uploaded)

Backup Folder

Ok

【バックアップ手順19】データの登録がある場合、 **Manage the files.** に該当するファイル名が表示されるので一番左の削除ボタンをクリックします。

※データの登録がない場合、ファイル名は表示されませんので本作業は不要です。

**4 Manage the files.**

You will find the list of all the files of the selected folder. You can now delete, download and/or upload files. You can have up to 1 files in your Restore folder. You can have up to 1 files in your Backup folder.

	Name	Size	Created on
		2 Kb	4/28/2015 3:24:04 PM

Delete

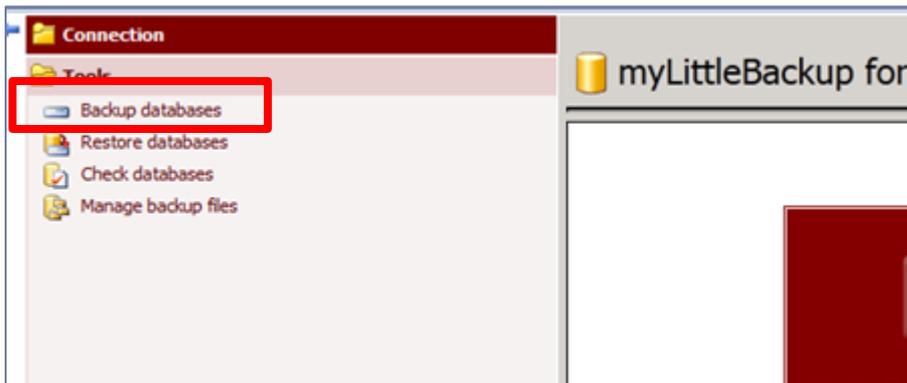
【バックアップ手順20】確認画面が表示されますので[OK]ボタンをクリックします

Web ページからのメッセージ

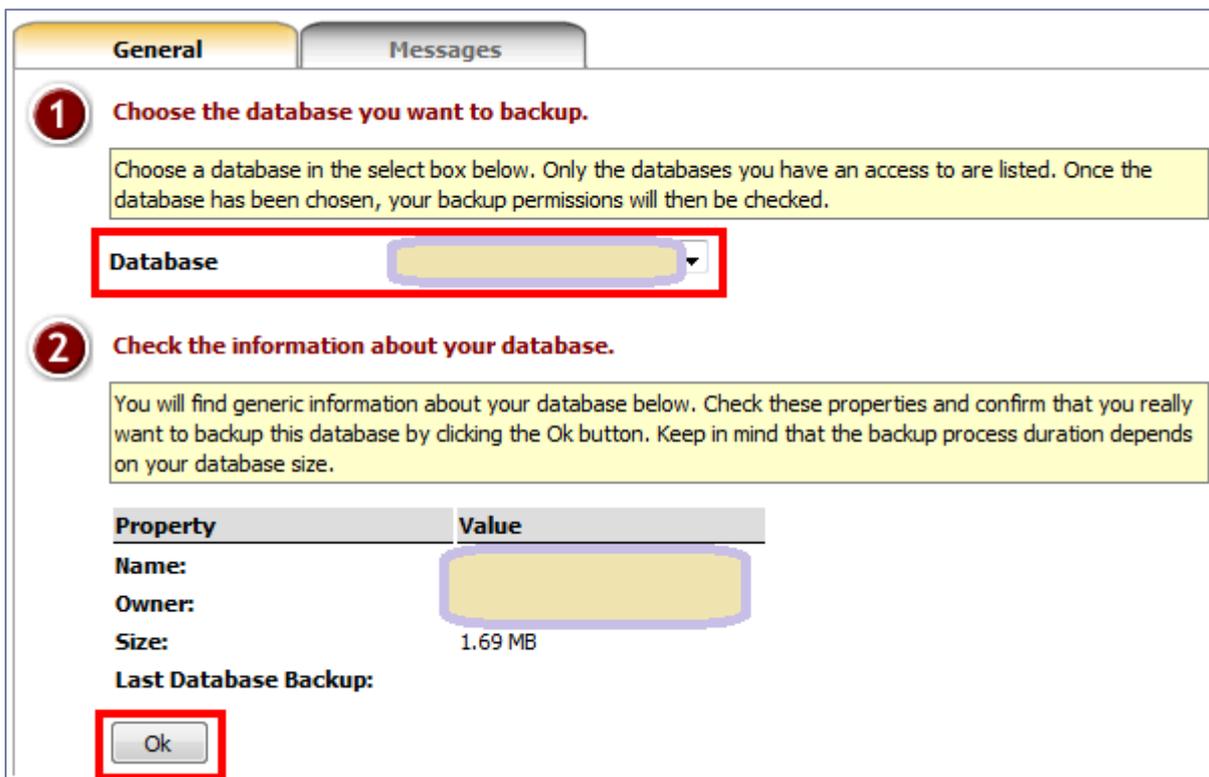
Do you really want to delete this file?

OK キャンセル

【バックアップ手順21】画面左上の[Backup databases]をクリックします。



【バックアップ手順22】 **1 Choose the database you want to backup.** にある **Database** 横のプルダウンメニューをクリックし、データベースをクリックし、 **2 Check the information about your database.** で[OK]ボタンをクリックします。



【バックアップ手順23】 **4 Ready to backup.** で[Backup]ボタンをクリックします。

※ **3 Give your backup set a name and a description.** の「Set name」と「Set description」は空白のままでも大丈夫です。

The screenshot shows a web interface for configuring a backup. Step 3, titled "Give your backup set a name and a description," includes a text box for "Set name" and another for "Set description." Below this, step 4, titled "Ready to backup," contains a message: "You're now ready to backup your database. The process can take several minutes. Be patient and do not click the stop button until done." A "Backup" button is highlighted with a red rectangle.

【バックアップ手順24】 **You can now download your backup file by clicking the link below:** の下にバックアップファイルへのリンクが表示されますので、クリックしてお手元のパソコンなどにダウンロードしてください。

The screenshot shows the completion of the backup process. Step 5, titled "Download your backup file," includes a message: "You can now download your backup file by clicking the link below. You will also be able to get download the backup file from the 'Manage backup files' link in the navigation sidebar." Below this, it says "Backup successfully performed." and "You can now download your backup file by clicking the link below:" followed by a redacted link. At the bottom, it states: "This backup file will remain available for download from the 'Manage backup files' tool."

以上でバックアップは終了です。

データベースが複数ある場合は同じ手順を繰り返してください。

## ～データベースをリストアします～

※既にリストアを実施し上手くいっていない場合は、念のため削除してから再作成してください。

【リストア手順1】[新しいデータベースを追加]ボタンをクリックしてバックアップを行ったデータをリストアする為の MSSQL2008 のデータベースを新規作成します。

【リストア手順2】データベースタイプは[MS SQL(MSSQL Database)]を選択して[次へ]をクリックします。

【リストア手順3】下記4項目を入力して[次へ]をクリックします。

- ①データベース名：
  - ②データ容量の上限
    - ※データ容量の上限は 1 MB と 9,960 MB の間で設定可能です。
    - ただし、データ容量とトランザクションログの合計サイズの上限は、9,960 MB 以内となるよう設定して下さい。
  - ③データベースユーザー名：
    - ※トランザクションログの上限は 1 MB と 9,960 MB の間で設定可能です。
    - ただし、データ容量とトランザクションログの合計サイズの上限は、9,960 MB 以内となるよう設定してください。
    - また、パーセントで設定されたトランザクションログ容量上限は、データ容量の上限に対して計算されます。
  - ④パスワード：
    - ※データベース名・データベースユーザー名・パスワードは控えておいてください。

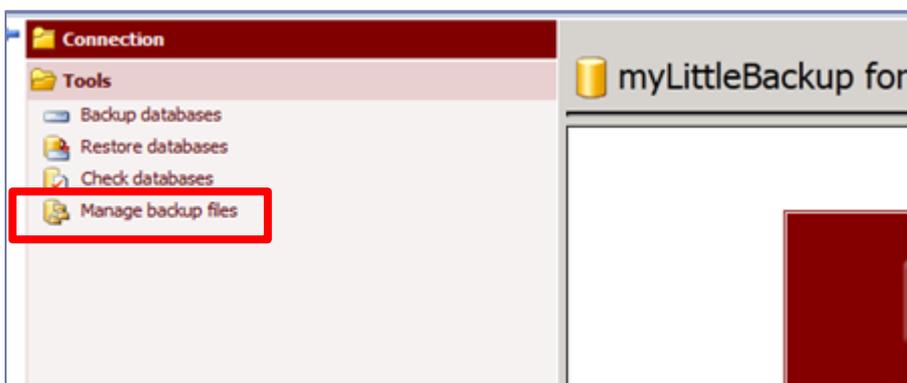
【リストア手順4】入力内容を確認して[完了]をクリックします。

【リストア手順5】下記の URL にアクセスし、各項目に入力して[connect]ボタンをクリックします。

<http://mla.win-sv.com/backup/>

- Server name: SQL 2008
- Database: に【リストア手順3】で作成したデータベース名
- Login: 【リストア手順3】で設定したユーザー名
- Password: 【リストア手順3】で設定したユーザー名のパスワード

【リストア手順6】リストアするデータベースの確認作業を行います。画面左上の[Manage Backup Files]をクリックします。



【リストア手順7】 **Choose the database for which you want to manage backup files** にあるプルダウンメニューをクリックし、対象のデータベースをクリックします。

**1 Choose the database for which you want to manage backup files**

Choose a database in the select box below. Only the databases you have an access to are listed. Once the database has been chosen, your file permissions will then be checked.

Database  ▼

【リストア手順8】 **Check the information about your database.** で[OK]ボタンをクリックします。

**2 Check the information about your database.**

You will find generic information about your database below. Check these properties and confirm that you really want to manage its backup files by clicking the Ok button.

Property	Value
Name:	db256484_test0428
Owner:	
Size:	3.25 MB
Last Database Backup:	
Last Database Restore:	

【リストア手順9】 **Choose the folder you want to manage.** の **Restore Folder (contains the backup files you uploaded)** を選択して[OK]ボタンをクリックします。

**3 Choose the folder you want to manage.**

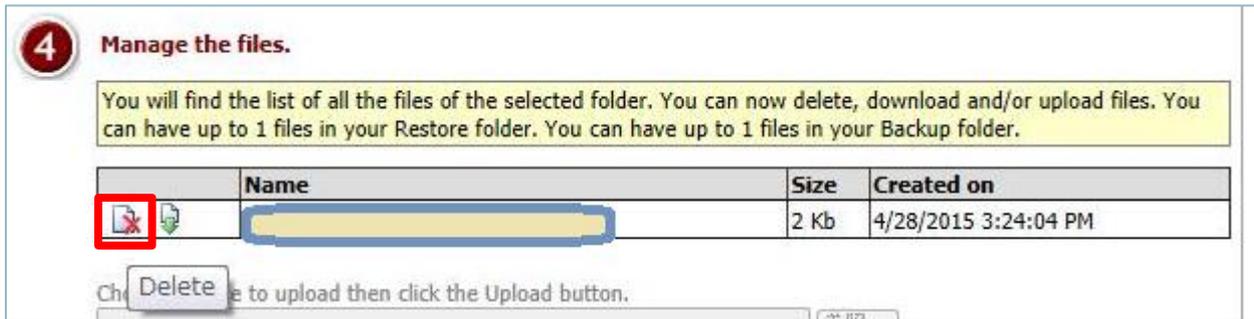
You must choose the folder you want to manage: the Restore folder which contains all the files you uploaded or the Backup folder which contains all the backup files you made with myLittleBackup.

Restore Folder (contains the backup files you uploaded)

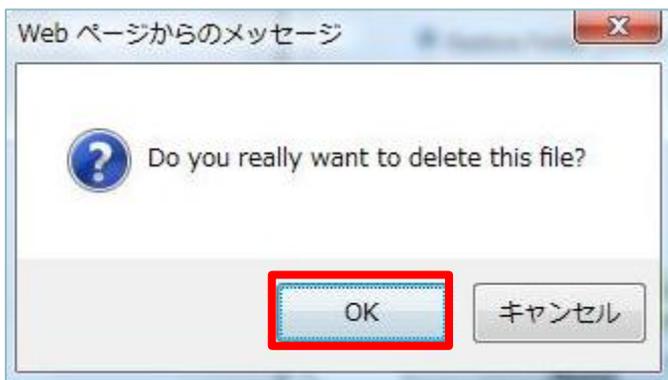
Backup Folder

【リストア手順10】データの登録がある場合、**Manage the files.** に該当するファイル名が表示されるので一番左の削除ボタンをクリックします。

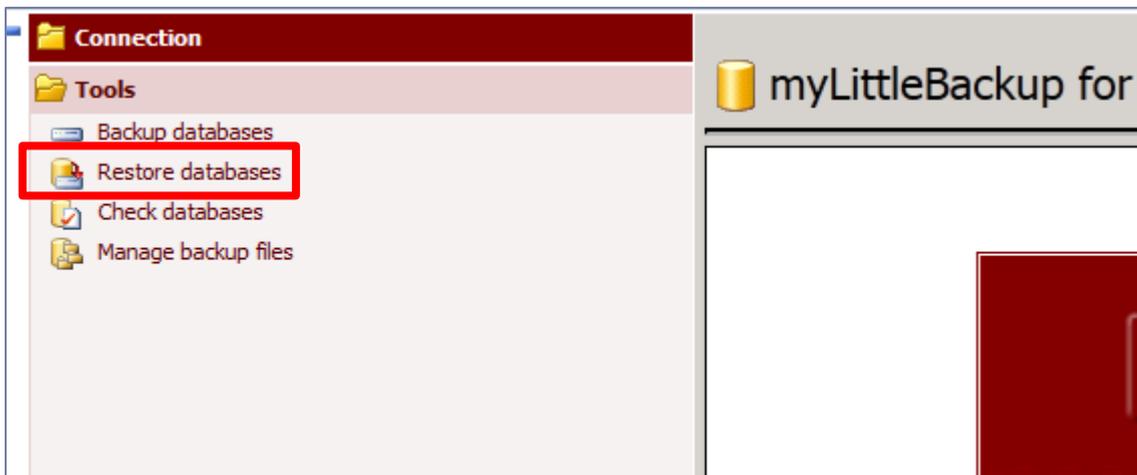
※データの登録がない場合、ファイル名は表示されませんので本作業は不要です。



【リストア手順11】確認画面が表示されますので[OK]ボタンをクリックします



【リストア手順12】画面左上の[Restore databases]をクリックします。



【リストア手順13】 **1 Choose the database you want to restore.** の Database 欄にあるプルダウンメニューをクリックしてデータベースを選択し、**2 Check the information about your database.** で[OK]ボタンをクリックします。

**1 Choose the database you want to restore.**

Choose a database in the select box below. Only the databases you have an access to are listed. Once the database has been chosen, your restore permissions will then be checked.

Database

**2 Check the information about your database.**

You will find generic information about your database below. Check these properties and confirm that you really want to restore this database by clicking the Ok button.

Property	Value
Name:	<input type="text"/>
Owner:	sa
Size:	3.88 MB
Data maximum size:	50 Mb
Log maximum size:	10 Mb
Last Database Restore:	3/4/2015 3:46:55 PM

Ok

【リストア手順14】 **3 Choose the backup file to use.** で[参照]ボタンをクリックし、バックアップしたファイルを選択して[OK]ボタンをクリックします。

**3 Choose the backup file to use.**

Choose a backup file in the list below or upload a new backup file from your local machine. Note that you can manage your backup files (delete, upload, download) from the "Manage backup files" link in the navigation sidebar. You can upload up to 1 backup files. If the upload feature is disabled, then you must use the "Manage backup files" tool to delete your old files.

Choose the backup file you want to use for restore in the list below

Or upload a new backup file from your local machine

参照... ファイルが選択されていません。

Ok

【リストア手順15】 **Choose the backup file you want to use for restore in the list below** にアップロードしたバックアップファイルが表示されますので、クリックして選択した状態にしてから再度[OK]ボタンをクリックします。

**3 Choose the backup file to use.**

Choose a backup file in the list below or upload a new backup file from your local machine. Note that you can manage your backup files (delete, upload, download) from the "Manage backup files" link in the navigation sidebar. You can upload up to 1 backup files. If the upload feature is disabled, then you must use the "Manage backup files" tool to delete your old files.

**Choose the backup file you want to use for restore in the list below**

635616995222487443\_db1020453\_maybe2000\_635616980498825613.bak

Or upload a new backup file from your local machine

ファイルが選択されていません。

【リストア手順16】 **5 Ready to restore.** で[Restore]ボタンをクリックします。

**4 Choose the backup set to use.**

Your backup files may contain several backup sets. Choose the backup set you want to use in the list below. You can display information about each backup set by clicking the "+" icon.

Backup Set:

**5 Ready to restore.**

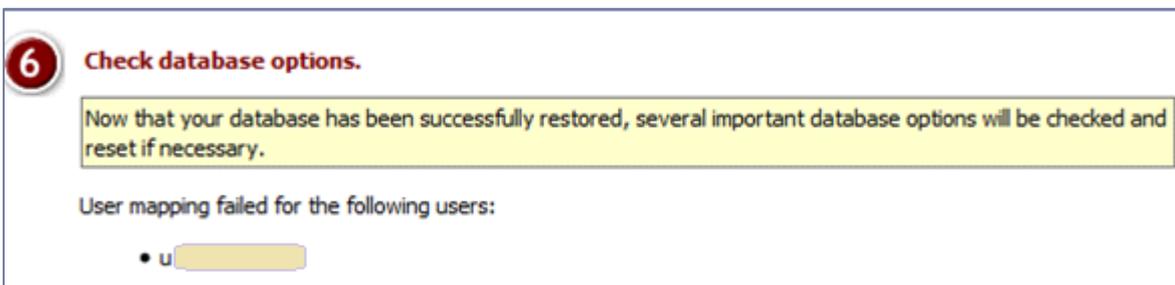
You're now ready to restore your database. The process can take several minutes. Be patient and do not click the stop button until done.

【リストア手順17】ポップアップ画面が表示されるので[OK]ボタンをクリックします。



【リストア手順18】**6 Check database options.** で下記のメッセージ画面が表示されればリストアの完了です。

※最終行に User mapping failed for the following users:～と表示されますが問題はありません。



以上でリストアは終了です。

データベースが複数ある場合は同じ手順を繰り返してください。

**\*注意\***

MSSQL2000 から MSSQL2008 に切り替えたことで、「データベース名」・「データベースユーザー名」・「パスワード」が変更されております。

これらの情報を変更すると、ウェブサイトからの接続ができなくなる可能性がありますので、必要に応じてコンテンツに記載している SQL 接続部分の情報を、本作業で設定した情報(「データベース名」・「データベースユーザー名」・「パスワード」)に変更してください。